

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	B. ほぼできている	「ひとりひとりに寄り添って自分らしい生活を支える」という理念に基づいたケアを職員同士で共有している。事務所の見えるところに掲示している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	C. あまりできていない	隣敷地に保育園が開設し、園児と交流している。ただ、人手不足や感染症の流行等により、交流計画やボランティア参入が中止したため、まだ日常的な交流には至っていない。	地域の方にグループホームの役割やどのような場所か認知されていればよい。（納涼祭などイベント情報を回覧したらどうかと意見をいただきました。） (GH) 今年度は自治会で配布予定。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	B. ほぼできている	施設のサービス内容、研修などの取り組みを報告し、いただいた意見を元に職員会議で見直しを行い、サービスの質向上に努めている。会議内容は全職員が確認できるようにし情報共有を行っている。			
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	B. ほぼできている	運営推進会議での報告や、管理者、計画作成を窓口として電話や対面で相談、報告し関係を築いている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B. ほぼできている	定期的に全職員に研修を行い、身体拘束に対する理解や不適切なケアを見直している。玄関については夜間等、職員一人体制時に防犯対策として施錠をしている。		A. 充分にできている	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	年2回全職員に研修を行う他定期的にチェックリストを活用しながら振り返り、職員のストレスを考える機会も設けている。		A. 充分にできている	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	C. あまりできていない	研修で周知し資料を回覧できるようにしているが、学ぶ機会はあるても、周知するまでに至っていない。現在、対象者がおらず制度利用者いない。			

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている	それぞれのご家族の不安や疑問点に対してわかりやすく説明できるように努め、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	日頃から面会時や受診、電話連絡時に近況報告をして意見・要望を聞き、信頼関係を築けるよう心がけている。年1回利用者・家族アンケートを行い、意見・要望を活かす取り組みをしている。		A. 充分にできている	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B. ほぼできている	常に職員の意見や提案には耳を傾けて、可能な限り速やかに反映させるようにしている。主任を配置し現場会議を開催したり、管理者や主任による個人面談で意見や不安を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B. ほぼできている	業務負担・内容の検討と労働環境の整備を行い生産性向上に努めている。有給消化やシフトの柔軟性面では働きやすい環境であるが、職員のモチベーションや給与水準の向上など向上心を持って働ける条件の整備が必要。		B. ほぼできている	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B. ほぼできている	新人職員には、指導担当をつけ計画的に指導を行い計画の見直しも図っている。委員会の設置や施設内研修を実施し、研修資料を担当職員が準備することで見識を深めている。		B. ほぼできている	(市役所)成年後見人制度の出前研修を紹介。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	B. ほぼできている	訪問看護による外部研修の実施や、外国人職員同士の交流の機会を設けているが、他事業所との交流は、一部の職員に限られており不十分。どんな交流が可能か情報収集から始めていく。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B. ほぼできている	日常生活の中で役割を持ち、協力し合いながら生活をしている。存在意義を感じられるよう努めている。			

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	B. ほぼできている	毎週のように面会や外出、月命日のお参り、教会の礼拝に参加される方もいるが機会不足、意思表示困難などの事情で関係継続には個人差がある。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	C. あまりできていない	常日頃よりご利用者の思い、希望が言える環境づくりや関係性の構築に努めている。 意思表示が困難な場合は職員、家族を含め情報共有を行い、一対一で過ごす時間を作って思いを探り、くみ取る努力をしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	計画作成と居室担当が中心となって定期的にモニタリングを行い、本人、家族の意向を尊重しながら介護計画書の見直しを行っている。その他、状態変化に即し都度カンファレンスや職員会議で情報共有、検討して課題の抽出やケアの方向性を決めている。	評価項目通り達成されている。	A. 充分にできている	職員間の情報共有がされていると感じる。スタッフが替わっても、二度手間がなく安心感がある。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B. ほぼできている	申し送りノートやICTの活用、朝礼での情報共有を行いケアに活かしている。記録漏れもあったが、以前に比べ細かく生活の様子が記録できている。		A. 充分にできている	職員間で情報共有がなされている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	B. ほぼできている	利用者一人ひとりに合わせ福祉用具の提案や食形態の変更、訪問看護、リハビリ職、訪問歯科診療との連携を行い、退所後の支援も含め柔軟な支援を心がけている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	C. あまりできていない	地域医療や図書館、市日や買い物、美術展や花見、ドライブなどの希望に合わせた外出、市のイベント呼びかけ等活用に努めているが、感染症対策や人員不足の問題で利用機会は少ない。年間行事計画は実施できている。	様々な要因で利用機会が少なくなるとしても、地域資源が把握できていればよい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	B. ほぼできている	家族付き添いにより、かかりつけ医に継続通院できっており、報告書の作成や電話相談で必要な医療を受けられている。通院が困難になった際には、通院先の変更の相談も行っている。			

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている	管理者、計画作成担当者が報告書を作成し情報提供を行っている。電話や面会、リハビリ見学で病状確認をし、退院調整や退院後の環境整備に努めている。		A. 充分にできている	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B. ほぼできている	契約前より重度化、終末期について事業所でできることを説明し、了承を得ている。状態変化時にはその都度、本人、家族に相談し意思を確認し、必要な情報の提供も行っている。		B. ほぼできている	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	C. あまりできていない	マニュアルやフローチャートの作成、定期的な研修、訓練や救命救急講習の受講等、実践力の強化を図っているが、経験不足から急変時の対応に不安がある職員も多い。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	C. あまりできていない	B C Pに基づき、訓練、研修と反省、定期的な見直しを行い非常時に対応できるよう備えているが不安がある職員も多い。地域との協力関係が築けていないことが課題。想定ケース外にも対応できるよう役割毎に意識付けが必要。	災害発生時に利用者様の安全が確保できるように、施設内だけでなく地域と連携できるように努める。同時に「自助力」もつけていけると尚良い。	C. あまりできていない	(GH)今年度、他事業所との合同水害訓練を予定している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	研修で意識を高めるとともに振り返りを行い、一人ひとりに合った声掛けと、本人の気持ちを理解することを大切にしている。		B. ほぼできている	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B. ほぼできている	本人のベースや希望に合わせ、入浴日時をずらすなどの配慮を行い無理強いはいしないようにしているが、意向に合わせきれず職員都合で動いていただいていることがある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	B. ほぼできている	普段は献立が決まっているが、調理レクやおやつなどの機会に希望のものを一緒に作っている。野菜を切る作業、盛り付け、毎食後の食器片づけなど一人一人の状態に合わせてながら食事用意に参加している。		B. ほぼできている	

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	B. ほぼできている	食事量や水分量を把握し、不足している人には補食を提供。また食材の温度や見た目の工夫や、必要時言語聴覚士による飲み込み能力の評価を受けるなど、状態に合わせている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	声掛けの工夫をし、食後の歯磨きのベースが来ている。必要時、仕上げ磨きも行っている。歯科医より口腔ケアの研修を受け、知識を深めている。		B. ほぼできている	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている	トイレで排泄できるよう声掛けをし、自立支援を意識している。定期的にカンファレンスを行い、状態変化にも速やかに対応している。必要時、訪問看護や医師と相談しながら排便コントロールを行えている。		A. 充分にできている	入所前の状態と変わらず、自立してトイレに行けている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている	気が進まないときは無理せず翌日に勤めている。希望者には同性対応も行っており、月初めにはかわり湯を楽しんでもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている	空調の調整や眠りSCANなどのICTを活用して睡眠状態の把握、質の向上に努め、浮腫みや睡眠不足などの情報共有を行い休息を勧めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている	薬剤情報を閲覧できるようにしするとともに、配薬時やセット時にはダブルチェックを行うことで誤薬を未然に防いでいる。		A. 充分にできている	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B. ほぼできている	入居前からの楽しみは継続できるよう対応している。好まれそうなことを把握、提案し支援している。意思表示の難しい方への対応が不十分と感じている。日々の生活の中で気付いたことを記録することが課題。			

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	B. ほぼできている	行事計画を立ててドライブや散歩の支援をしている。ドライブコースは家族に馴染みの場所などお聞きしている。家族協力の下、定期的に外食や外出を楽しまれている方もいる。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	B. ほぼできている	本社の方針で現金の預かりはしていない。自分の意思で買い物ができるよう、レク費の一部で好きなものを買に行くツアーを行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	B. ほぼできている	私物の携帯電話を使用する方もいるが、希望時、施設の電話を使用できるようにしている。家族を通じ、文通をしている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている	季節の生花や、壁画の製作で季節を感じられるようにしている。定期的に席替えを行い、一人一人が居心地よく過ごせるよう環境を整備している。		A. 充分にできている	施設内がいつも整理整頓されている。清潔感がある。季節感を取り入れ工夫されている。と意見多数。
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	B. ほぼできている	意思表示が難しい方には選択肢を用意し希望に沿えるよう工夫するなど、可能な限り意向を叶えられるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	B. ほぼできている	編み物や読書など趣味を継続できている方もいる。生活歴や習慣などの情報を集め配慮してケアを行っている。			

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	B. ほぼできている	記録や申し送りの他、定期受診や週1回の訪問看護や他医療従事者と連携を取って体調を把握し、支援や必要時の受診につなげている。		B. ほぼできている	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	B. ほぼできている	体調面を考慮しながら静養や食事など、できるだけ本人のペースにあった生活ができるよう心がけている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	B. ほぼできている	馴染みの物や大切なもの、写真などを飾って自室で安心を感じてもらい、その人らしく過ごせるよう環境整備している。		A. 充分にできている	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	B. ほぼできている	意向や希望があれば家族にも協力していただき叶えられるようにしている。また、好まれそうなイベントがあれば声をかけ参加している。	・できることから叶えられたら良い。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	B. ほぼできている	普段の様子や会話から楽しみや得意なことを把握し、できること、できそうなことを見極めて提案し役割をもってもらえるよう配慮している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	B. ほぼできている	利用者同士で会話や相談ができるよう席移動や居室の行き来を支援している。ときに職員も間に入り話題を提供している。		B. ほぼできている	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	C. あまりできていない	隣接の保育園とは交流は増えているが感染症の流行などがあると交流が困難。近隣施設や近隣住民には散歩時の挨拶程度にとどまっている。	働く世代が多く、地域に人がいない現状。地域の人との挨拶から始められると良い。		

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和8年5月15日
運営推進会議開催日	令和8年6月17日
外部評価作成日	令和8年7月14日
提出日・公表日	令和8年7月21日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
49	総合	本人は、このGHIにすることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	B. ほぼできている	「ここにいれば安心。」と納得されている利用者様も多い。認知症からの困りごとや不安感に寄り添い、安心してもらえるケアを続けていきたい。	これからも寄り添う支援を継続していってほしい。	A. 充分にできている	